



人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学

令和4年9月1日

報道機関 各位

文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」採択事業  
「島根大学農林業就業希望者支援リカレント教育プログラム」受講生募集

◆本件のポイント！

- ・文部科学省令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択
- ・島根県内で農林業への就業を希望する方へ、島根大学教員等が無償で専門知識をオンラインと対面で講義
- ・島根労働局、島根県農林水産部、ふるさと島根定住財団、しまね農業振興公社、島根県立農林大学校、島根県林業公社、JAしまねと連携し、充実したプログラムを提供
- ・講座開講期間は、令和4（2022）年9月1日～令和5（2023）年2月28日
- ・9月1日から受講生の募集を開始し、随時受付
- ・基礎コースは、1科目からどなたでも受講可能（部分受講生）

◆本件の概要

島根県農林水産部、農林大学校、JAしまね、しまね農業振興公社、島根県林業公社、ふるさと島根定住財団等を通じて本プログラムの受講生を募り、就業支援基礎教育コースでは土壌肥料、病虫害防除、農業経営、森林学などに関する講義をオンデマンド中心に実施します。さらに、作物、野菜および果樹の栽培系と林業の講義を中心として各2か月に1回程度、大学農場と演習林を活用した実習または対面講義（双方向同期化オンラインを含む）を行います。発展コースでは、施肥の理論と実践、品質管理、GAPおよび6次産業化関連講座に加え、機能性食品開発、スマート農林業やDX農林業の講義と実習を実施し、先進的で儲かる農林業を目指します。また、「現場見学・体験」で実際の就業現場を知る機会を設けています。また、家庭菜園を行う方のように、基礎コースの興味のある科目のみの受講も部分受講生として広く受け入れます。

なお、このプログラムは文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」の採択事業で、プログラムは希望者に無償で実施します。

◆本件の連絡先

部課等・担当者：島根大学生物資源科学部 教授 松本 敏一

電話番号：0852-34-0311（生物資源科学部附属生物資源教育センター代表番号）

◇その他

文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のための

リカレント教育推進事業」に採択されました

<https://www.life.shimane-u.ac.jp/docs/2022062400022/>



【添付資料： あり（2枚） なし】



# 島根大学、島根県、各種農林業支援団体のコンソーシアムで 島根県内での農林業就業までをしっかりと支援!

## ●公益財団法人しまね農業振興公社

島根県で農業を始めたい方の相談窓口として、就農情報の提供から、現地での体験、研修、就農へとスムーズに進めるようにさまざまな支援を行っています。就農情報は「しまね就農支援サイト」からも配信しています。

### 〈しまね就農支援サイト〉

- 就農へのロードマップ
- 就農パッケージ
- オンライン産地ツアー
- 就農相談会の開催(参加)計画
- オンライン就農相談
- 農業体験プログラム
- 農業法人等の求人情報 ほか

### お問合せ

公益財団法人しまね農業振興公社  
島根県松江市黒田町432-1  
TEL0852-20-2872



## ●公益財団法人ふるさと島根定住財団

### Uターンしまね産業体験助成

島根県にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等の産業を体験する場合に滞在に要する経費の一部を助成する制度です。

- 対象:県外在住のUターン・Iターン希望者
- 対象業種:農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等
- 助成期間:3か月以上1年以内 ※伝統工芸は2年以内
- 体験者助成額:12万円/月 ※ただし、以下の場合は6万円/月
  - ①県内に居住する父母または祖父母と同居の場合
  - ②二親等以内の親族が受入先となり体験を行う場合
  - ③伝統工芸の2年目
- 親子連れ助成額:3万円/月(中学生以下・1世帯につき)  
※助成金は3か月ごとの支給となります。

「しまね移住情報ポータルサイト」にて産業体験の制度概要をはじめ、支援の流れ等をわかりやすく解説しています。



### お問合せ・相談窓口

公益財団法人ふるさと島根定住財団  
出雲・隠岐地方 TEL0852-28-0690  
石見地方 TEL0855-25-1600



## ●島根県立農林大学校

### 農業科 短期養成コース

「卒業後に島根県内で就農見込みの方」向けの自営就農を目標とした研修・技術習得を行います。就農のための準備も関係機関と連携しサポートします。

### 〈特徴〉

- 農業経営者に必要な知識・技術が短期間で身につく
- 卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、研修～就農までのプランが明確!
- 入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

### お問合せ

島根県立農林大学校  
島根県大田市波根町970-1 TEL0854-85-7012

### 林業科 早期養成コース

実践を想定した実習やフィールドワーク主体のカリキュラムにより、林業現場において即戦力となる人材を養成します。

### 〈特徴〉

- 林業の現場に必要な知識・技術を集中的に身につける。
- 林業現場に必要な免許・資格が取得できる。
- 林業事業者でのインターンシップ(約3ヶ月)

### お問合せ

島根県立農林大学校林業科  
島根県飯石郡飯南町上来島1207 TEL0854-76-2100

## ●公益社団法人 島根県林業公社

島根県林業公社内に林業労働力確保支援センターを設置し、県内林業事業者への就業をトータル的に支援しています。林業への就業を希望される方を対象とした、就業相談、各種情報提供、研修会の実施、資格取得の支援等を行っています。詳しくは、同センターのホームページをご覧ください。

### 〈主な支援活動〉

- オンライン相談(随時対応)
- 森林の仕事ガイド(東京・名古屋・大阪・福岡・出雲)
- 林業体験研修(10日間)【資格取得:チェーンソー・刈払機・小型車両系機械】
- 林業体験研修(5日間)【資格取得:チェーンソー・刈払機】
- 林業就業促進資金の貸し付け(無利子、償還免除制度あり)

### お問合せ

島根県林業公社  
林業労働力確保支援センター  
島根県松江市黒田町432-1  
TEL0852-32-0253



### お問い合わせ先

## 島根大学 生物資源科学部本庄総合農場

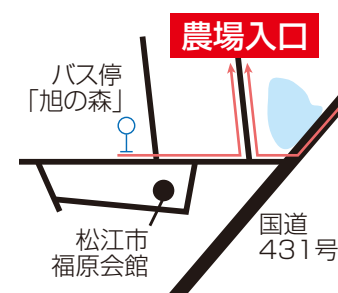
島根県松江市上本庄町2059  
TEL:0852-34-0311  
FAX:0852-34-1823  
E-mail:lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp

### 松江市からバスで

一畑バス「美保関ターミナル」行き旭の森(ひのもり)停留所下車。農場入口まで徒歩5分、主会場まで約15分。

### 松江市内から車で

- 川津ICから農場入口まで約3.5km、約10分。
- 島根大学から農場入口まで約6km、約15分。



文部科学省  
令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」採択事業

## 島根大学

# 農林業就業希望者支援 リカレント教育プログラム

講座開講期間 / 2022年9月1日～2023年2月28日

受講生  
募集

受講料  
無料

定員  
50名

申込み切  
随時受付

対象者



島根県内での就業を希望するあなたを応援します。

- 島根県において農林業の自営就業および農業法人や各林業事業者の雇用就業を目指す方(高校卒業以上で非正規雇用者、失業者、転職希望者の方)
- 農林業に関する事前の知識・学歴は問いません



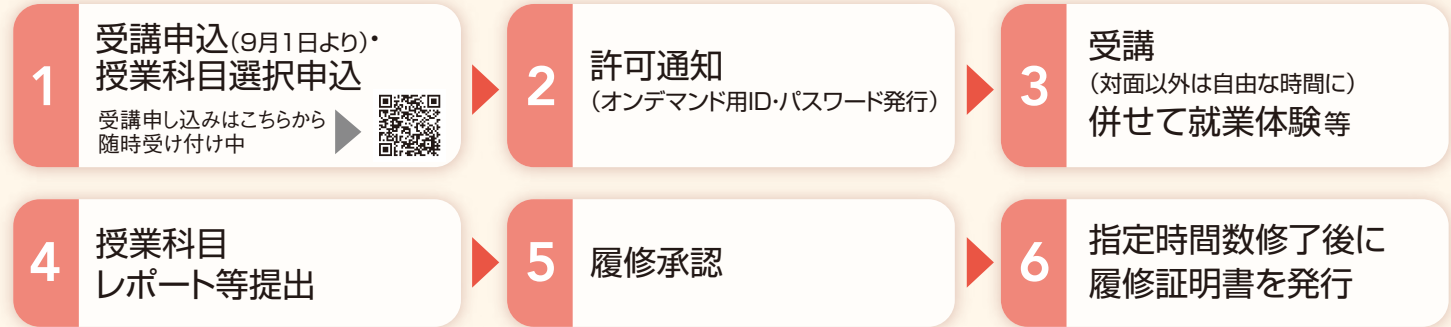
# プログラム概要

島根県、農林大学校、JAしまね、しまね農業振興公社、島根県林業公社、ふるさと島根定住財団等を通じて本プログラムの受講生を募り、就業支援基礎教育コースでは土壌肥料、病虫害防除、農業経営および森林学などに関する講義をオンデマンド中心に実施します。さらに、作物、野菜および果樹の栽培系と林業の講義を中心として各2か月に1回程度、大学農場と演習林を活用した実習または対面講義(双方向同期化オンラインを含む)を行います。



## スケジュール

講座開講期間:2022年9月1日~2023年2月28日



## 受講方法

「対面形式」とある科目は、年に1、2回農場及び演習林で実地授業があります。それ以外は基本的にオンデマンド(遠隔)形式による受講となります。

### オンデマンド(遠隔)形式

島根大学学習管理システム(Moodle)により、インターネットから遠隔での受講が可能です。質問等も受けることが可能な双方向のシステムです。



### 対面形式

島根大学生物資源科学部附属本庄総合農場及び三瓶演習林で、専門的な実習を行います。



※写真・イラストはイメージです。

# 授業科目一覧

## ■基礎コース

1科目から、どなたでも受講可能です。

分類	科目名	内容	授業時数	受講方法	担当教員・実務家名	所属
選択必修1	土壌肥料の基礎	農耕地土壌の特徴と肥培管理の留意点を解説します。また様々な肥料の特性と施肥に関する基礎知識を解説します。	6	遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修1	病虫害防除の基礎	作物栽培における病虫害防除の注意点と対策を紹介するとともに適切な農業の使用方法についても解説します。	6	遠隔	上野 誠	島根大学生物資源科学部
選択必修1	虫害防除の基礎	害虫による農作物の障害を紹介するとともに、その防除技術について解説します。	6	遠隔	泉 洋平(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修1	農業経営の基礎	農業経営を行う上において知っておきたい基礎的な知識を解説するとともに、集落営農や営農法人の在り方について紹介します。	6	遠隔	井上 憲一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	野菜花卉栽培の基礎	基本的な野菜・花丹栽培技術を解説します。	10	対面・遠隔	浅尾 俊樹 田中 秀幸	島根大学生物資源科学部
選択必修2	果樹栽培の基礎	果樹栽培を行うための様々な果樹の生理生態について解説するとともに、栽培技術を紹介します。	10	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	水稻栽培の基礎	水稻栽培を行う上での基本的な栽培技術を紹介します。さらにコメの品質を高めるための肥培管理について解説します。	10	対面・遠隔	氏家 和広(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	畑作物栽培の基礎	ダイズやアズキなどの豆類およびサツマイモを中心としたイモ類の基本的な栽培技術を解説します。	10	対面・遠隔	門脇 正行 城 惣吉	島根大学生物資源科学部
選択必修2	森林学の基礎	森林管理の基本となる森林の立地環境に関する基礎的知識を習得します。	10	遠隔	山下 多間 橋本 哲	島根大学生物資源科学部
選択	実習:果樹	果樹栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	実習:野菜	野菜栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	田中 秀幸	島根大学生物資源科学部
選択	実習:畑作物	芋や豆等の畑作物栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	門脇 正行 城 惣吉	島根大学生物資源科学部
選択	実習:育林作業	森林管理に必要な作業について基本的な事項を実習を通じて学習します。	6	対面	山下 多間 森林科学部門技術室	島根大学生物資源科学部

## ■発展コース

正規履修の方が対象となります。

分類	科目名	内容	授業時数	受講方法	担当教員・実務家名	所属
選択必修3	施肥設計の実践	水稻、野菜、果樹などの農作物を生産する上で重要な施肥の理論を解説し、収量や品質を向上させるための実践的な施肥技術を紹介します。	6	対面・遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	農業の科学	様々な農業の環境中の動態を学ぶとともに法律に基づく農業の適切な管理を修得する。	6	遠隔	巢山 弘介(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	集落営農の現場	営農組織の役割を解説します。	6	遠隔	井上 憲一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	GAPの実践	農産物の安全性を担保する上で重要な生産工程管理について解説します。特に島根県独自の認証制度である「美味しまね認証」について詳しく紹介します。	6	遠隔	松本 真悟(実務家教員) 鶴永 陽子(実務家教員)	島根大学生物資源科学部 島根大学人間科学部
選択必修4	有機農業の理論	間違った理解や曲解されがちな有機農業について科学的な見地から客観的な評価を行い、実践可能な方法について解説。	10	遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修4	六次産業化の実践	農産物の収益性を高める六次産業化の実践例を紹介するとともに、六次産業化の成功のカギを解説します。	10	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員) 外部講師(実務家教員)	島根大学生物資源科学部 学外
選択必修4	農産物の品質管理	農産物の栄養成分について解説します。	10	遠隔	鶴永 陽子(実務家教員)	島根大学人間科学部
選択	機能性食品開発	植物の機能性と加工食品開発について学びます。	10	遠隔	室田 佳恵子・池浦 博美 吉清 恵介	島根大学生物資源科学部
選択	スマート農林業・地域農林業DX	特徴的な水耕栽培や様々な計測機器を用いた環境管理を通じた栽培方法を紹介します。	10	対面・遠隔	浅尾 俊樹・門脇 正行 松本 真悟・米 康充 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部 島根大学総合理工学部
選択	森林資源管理学	人工林の資源管理方法を習得します。	10	遠隔	高橋 絵里奈	島根大学生物資源科学部
選択	実習:DX農林業	ITやDX農林業について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	松本 真悟(実務家教員) 米 康充(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	現場見学・体験	実際の現場を訪問し、話を聞いたり体験する機会を持ちます。	6	対面	松本 敏一(実務家教員) 山下 多間・門脇 正行	島根大学生物資源科学部

※基本コースの選択必修1と2のうち各2科目を含む50時間以上の科目を履修すると発展コースに進むことができ、さらに発展コースの選択必修3と4のうち各2科目を含む40時間以上の科目を履修すると本コース修了となります。  
※部分受講生及び履修証明書の発行を希望されない場合、科目の選択は自由です。また、科目は後からでも追加受講可能です。